現場の
Excel運用・帳票業務の
課題に関するアンケート
調査結果レポート

アステリア株式会社



はじめに

現場業務にExcelや紙帳票が深く根付いている企業は少なくありません。転記ミス、版管理の煩雑さ、担当者への業務集中。こうした課題は「仕方ない」と見過ごされがちですが、実態を数字で把握している組織はどれほどあるでしょうか。
本資料は、情報システム部門および現場管理者の方々を対象に、Excel運用・帳票業務の現状と課題を定量的に明らかにすることを目的として実施した調査の結果をまとめたものです。

「転記・コピー作業が最大の負担」「約9割の組織で入力不備による手戻りが発生」「脱Excel・脱紙を当面予定していない企業が約半数」。調査からは、課題を認識しながらも改善に踏み出せていない現場のリアルな実態が浮かび上がっています。
自社の現状と照らし合わせながら、業務改善を検討するための参考資料としてお役立てください。

【調査内容】
- 調査目的：勤務先での現場業務におけるExcel運用・帳票業務の現状や課題についての意識調査
- 調査対象：従業員数10名以上の企業にお勤めで、情報システム・モノづくり・土木関連職かつ係長・主任クラス以上のアイティメディアID会員
- 調査期間：2026/3/16 ～ 2026/3/27
- 調査手段：Webメディア掲載およびメール配信によるオンラインアンケート
- 有効回答数：105件

© Asteria Corporation
※構成比の数値は四捨五入しているため、必ずしも合計が 100％にならない場合があります。

調査結果サマリー（最多回答）

Excel運用における最大の負荷要因

転記・コピー **30.5%**

担当者1人あたりの月間平均Excel工数

3〜5時間 **25.7%**

入力不備に伴う確認・再調査の発生頻度

月に1回程度 **39.0%**

Excel・紙運用の継続による組織的リスク

属人化して改善が止まる **31.4%**

定型様式を用いた報告業務の実施状況

ある（月に数回） **37.1%**

報告書作成に必要な元データの収集源

Excel（現場入力） **59.0%**

定型帳票作成におけるボトルネック工程

転記・整形 **63.8%**

現場のデジタル化を阻む主要な課題

業務が標準化しきれずルールを決めきれない **30.5%**

現場データ活用における最優先改善事項

他システム・ツール連携の容易さ **22.9%**

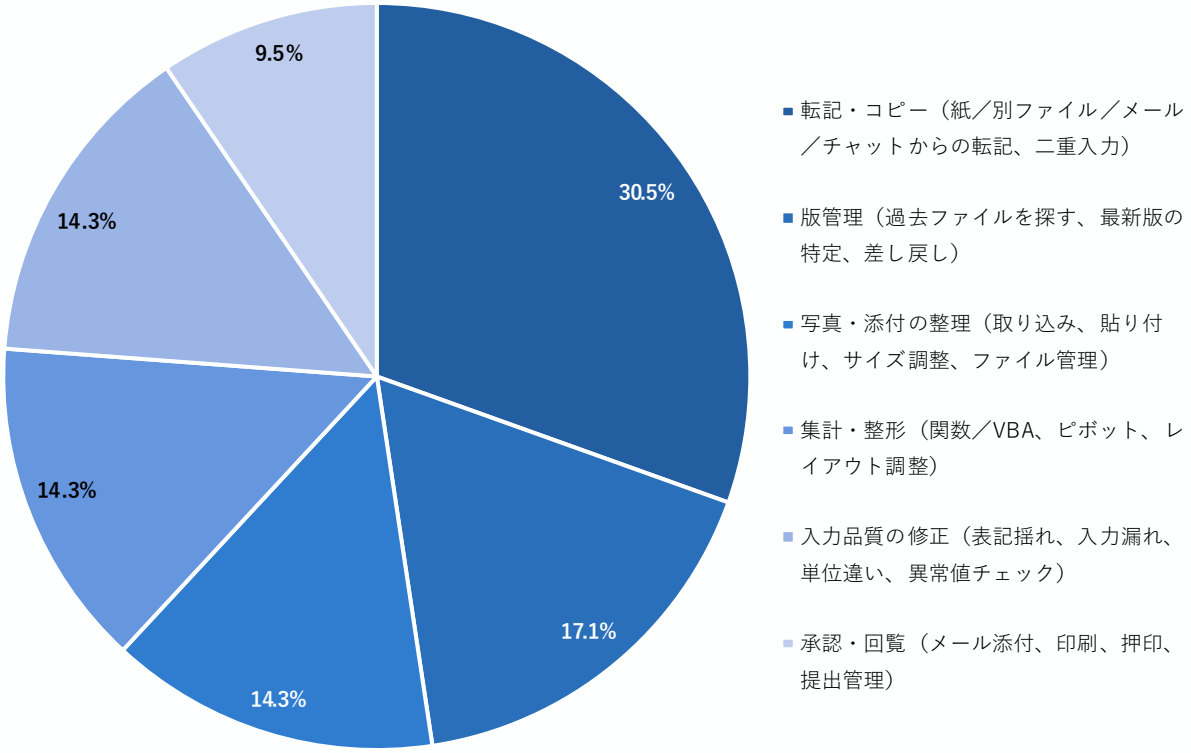
今後1年間の脱Excel・脱紙の推進意向

当面予定なし **46.7%**

© Asteria Corporation

Excel運用における最大の負荷要因

Q1：Excelでの運用において、最も「無駄・ストレス」だと感じる作業は何ですか？



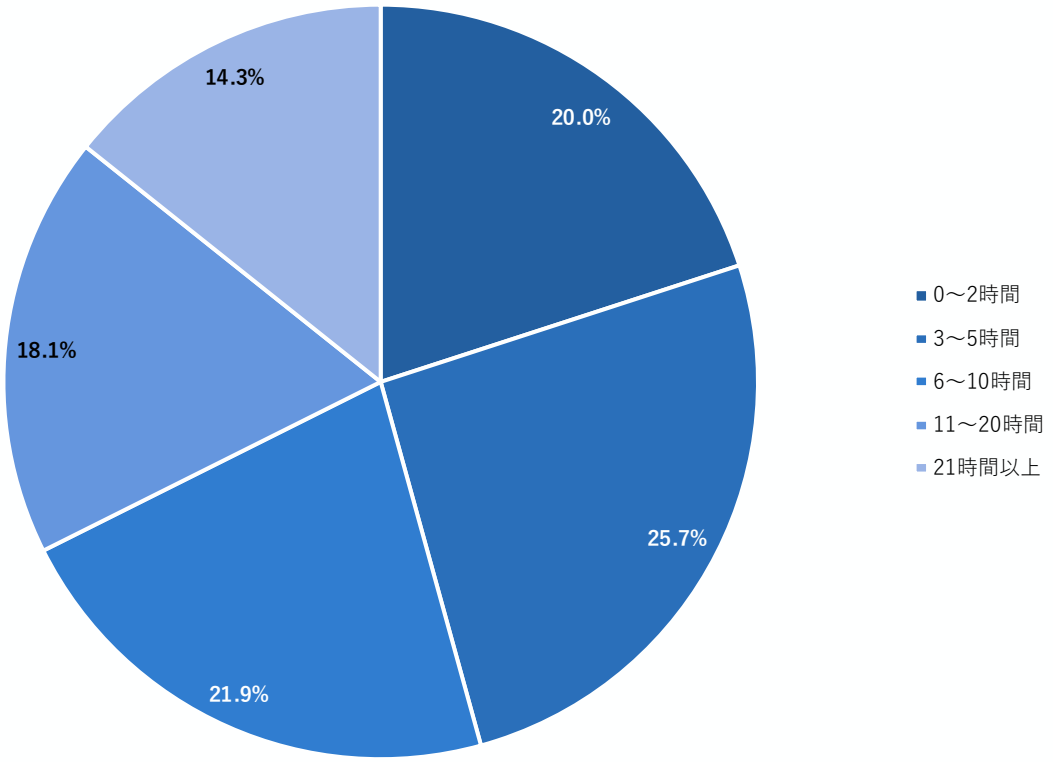
- 最も多かった回答は「転記・コピー」で30.5%、次点で多かった回答は「版管理」で17.1%だった
- 外部媒体や他ファイルからの二重入力作業が、現場にとって最大の負担となっている状況が分かった
- 最新版の特定やファイル検索といった、情報の管理・整理にも一定の工数が割かれていることがうかがえる

n=105

© Asteria Corporation

担当者1人あたりの月間平均Excel工数

Q2：Excel関連作業（入力・転記・整理・集計など）に、担当者1人あたり合計で「毎月」何時間程度費やしていますか？



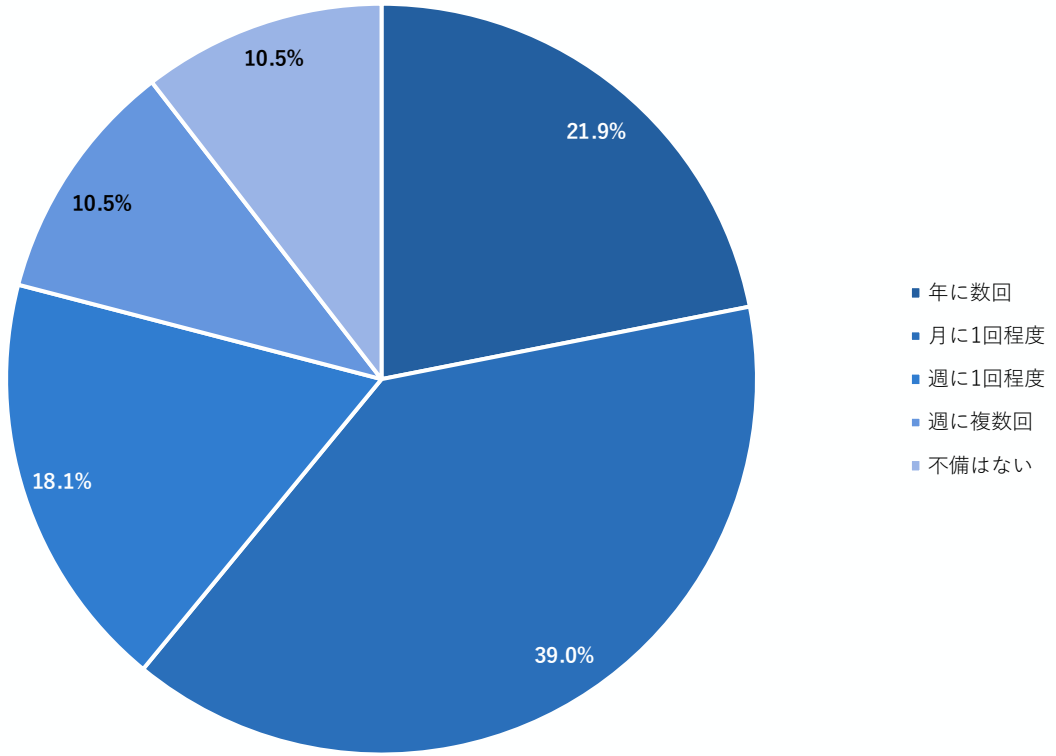
n=105

- 最も多かった回答は「3〜5時間」で25.7%、次点で多かった回答は「6〜10時間」で21.9%だった
- 回答者の約半数が毎月6時間以上の工数を費やしており、Excel作業が一定の業務圧迫要因となっている
- 21時間以上費やす層も14.3%存在し、業務内容によって負担の差が激しい実態が分かった

© Asteria Corporation

入力不備に伴う確認・再調査の発生頻度

Q3：Excelでの報告内容に不備（入力漏れ、異常値の見落としなど）があり、後日「確認・再調査」が発生する頻度を選択してください。

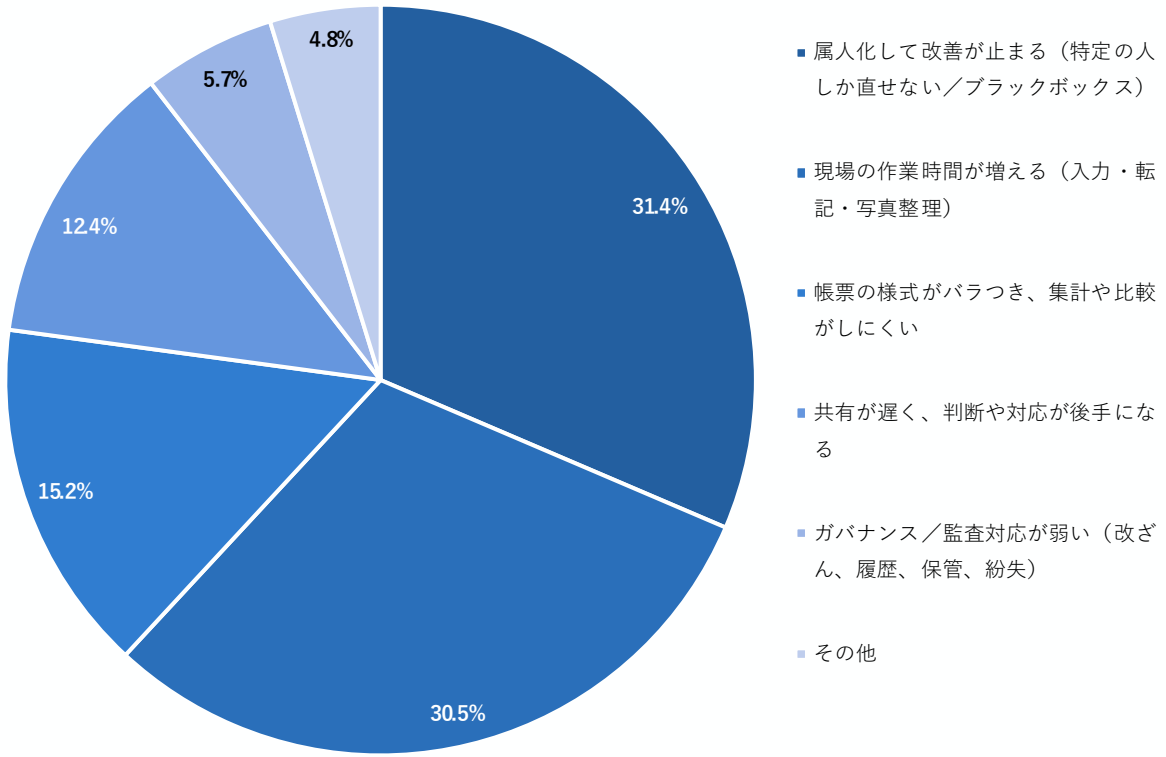


- 最も多かった回答は「月に1回程度」で39.0%、次点で多かった回答は「年に数回」で21.9%だった
- 不備がないと回答した割合は10.5%に留まり、約9割の組織で手戻りが発生していることが分かった
- 週に1回以上発生する層も約3割存在し、Excel運用の品質維持における課題がうかがえる

© Asteria Corporation

Excel・紙運用の継続による組織的リスク

Q4：Excel・紙運用を続けることで、組織として最も大きい損失（リスク）だと感じることを選択してください。

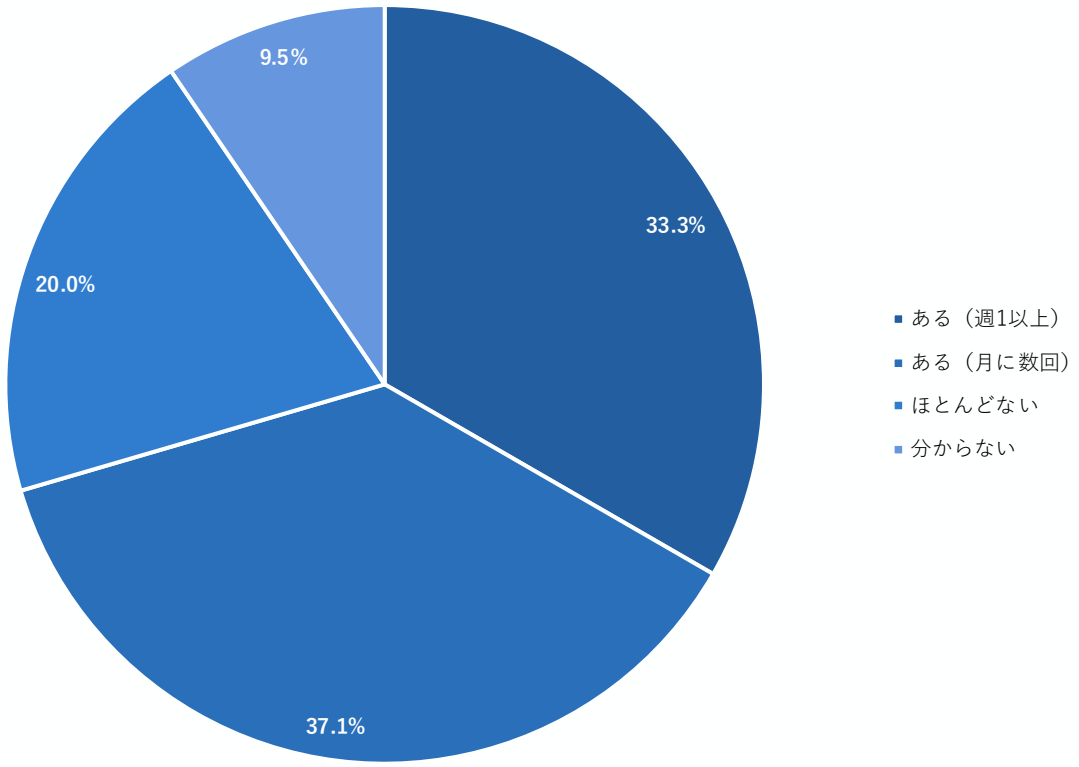


- 最も多かった回答は「属人化して改善が止まる」で31.4%、次点で多かった回答は「現場の作業時間が増える」で30.5%だった
- マニュアル化困難な「職人芸」による運用が、組織の柔軟な変化を阻害する要因になっていることが分かった
- 現場の工数増加という直接的コストもさることながら、将来的な業務改善の可能性が失われる機会損失を重く見ているとうかがえる

© Asteria Corporation

定型様式を用いた報告業務の実施状況

Q5：業務で、Excelの「定型の様式（自社／他社フォーマット）」に沿った提出物（帳票・報告書など）を作成していますか？

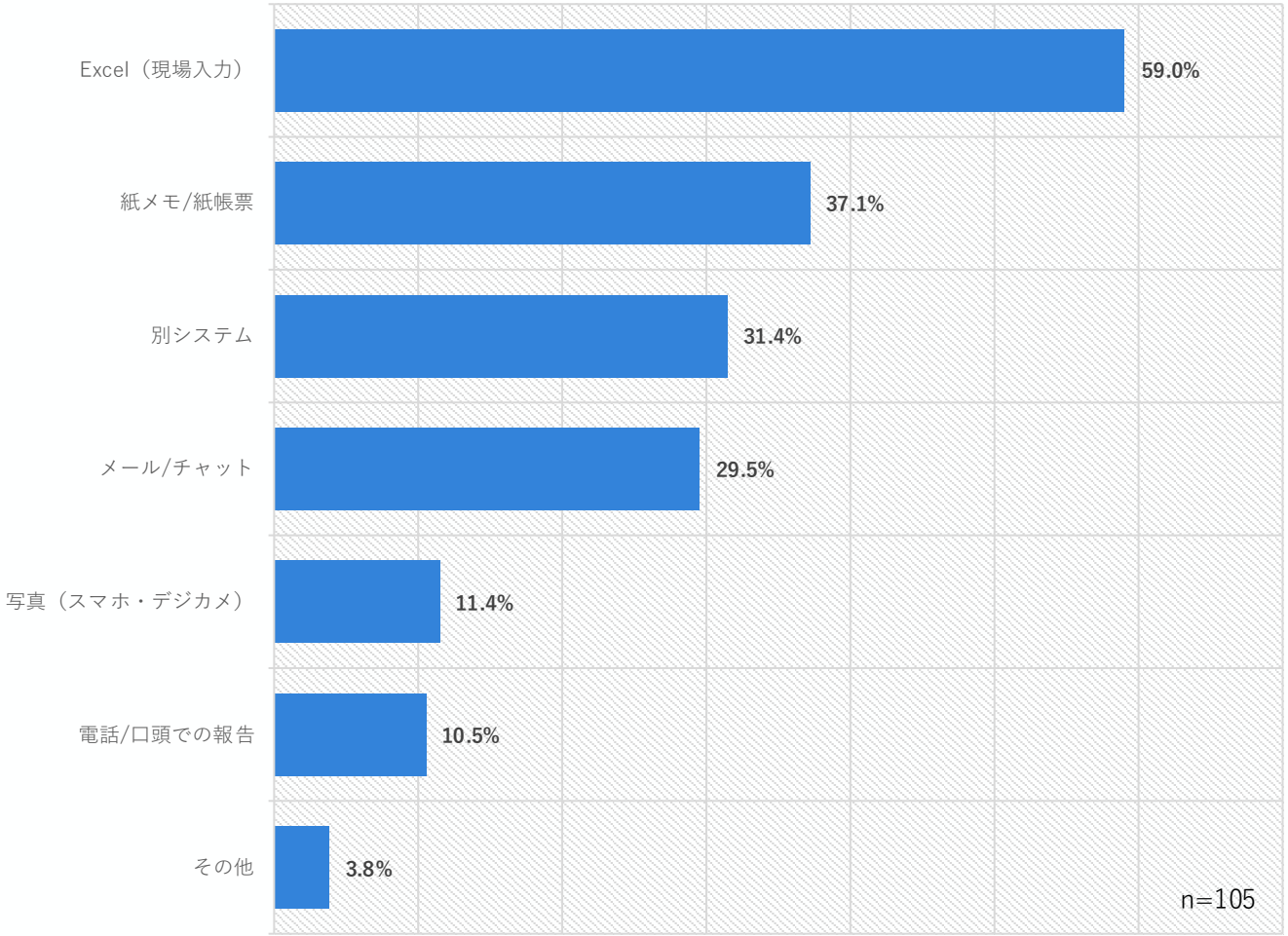


- 最も多かった回答は「ある（月に数回）」で37.1%、次点で多かった回答は「ある（週1以上）」で33.3%だった
- 全体の約7割が定期的に定型フォーマットへの出力を伴う業務に従事している実態が分かった
- 多くの業務において、特定の様式に合わせた報告書作成が標準的なプロセスであるとうかがえる

© Asteria Corporation

報告書の作成に必要な元データの収集源

Q6：帳票の元データは主に何から収集していますか？（複数選択可）

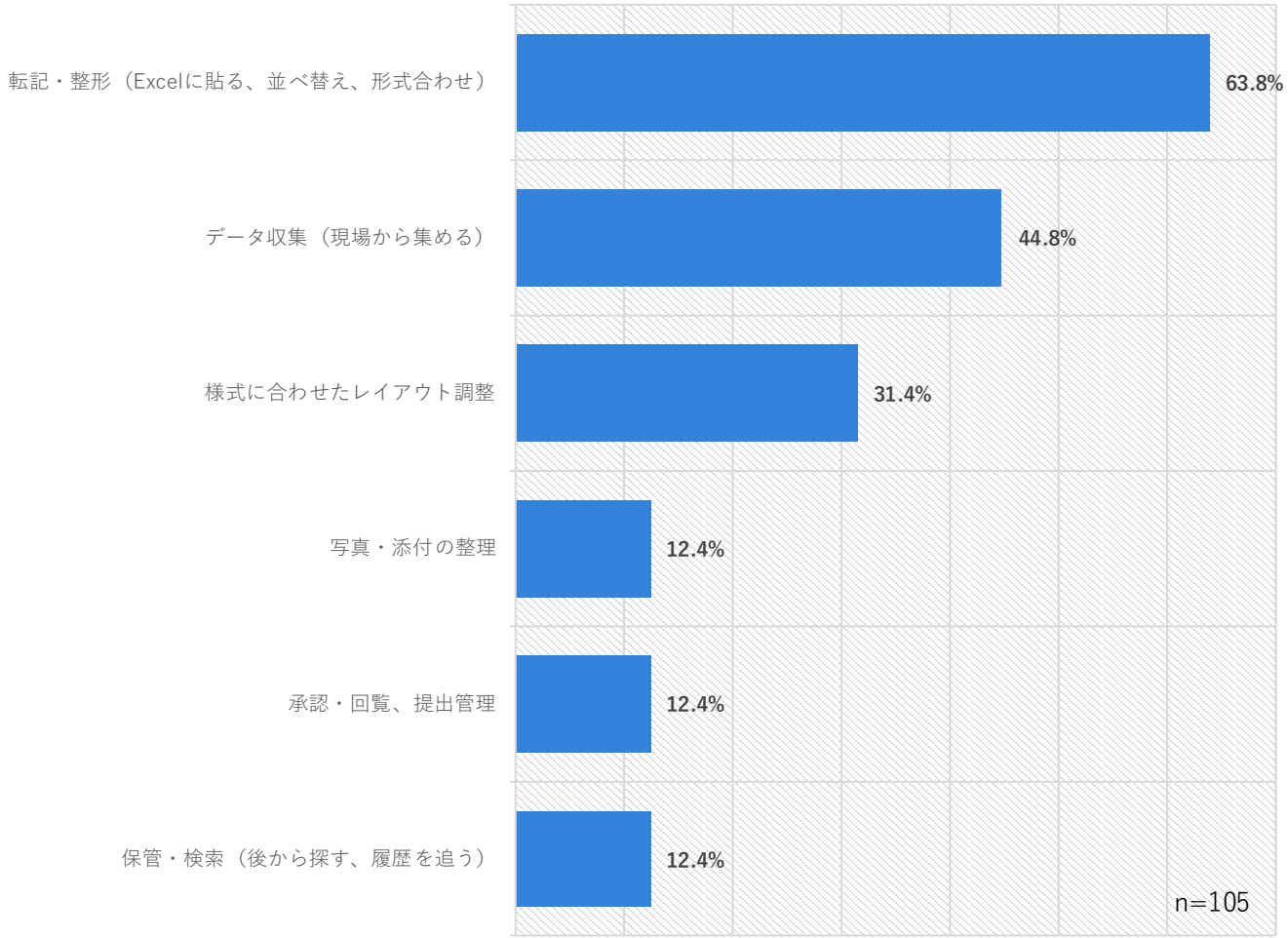


- 最も多かった回答は「Excel（現場入力）」で59.0%、次点で多かった回答は「紙メモ/紙帳票」で37.1%だった
- 現場ですでにExcel入力されたデータを再収集する、非効率な情報の連鎖が起きていることが分かった
- 紙媒体からの転記も根強く残っており、アナログとデジタルが混在している状況がうかがえる

© Asteria Corporation
「現場業務におけるExcel運用・帳票業務の課題」に関するアンケート 調査結果　アステリア株式会社／アイティメディア株式会社　2026年3月実施　調査件数 105件

定型帳票の作成におけるボトルネック工程

Q7：定型の様式（自社／他社フォーマット）の帳票の作成で、時間がかかる工程はどこですか？（複数選択可）

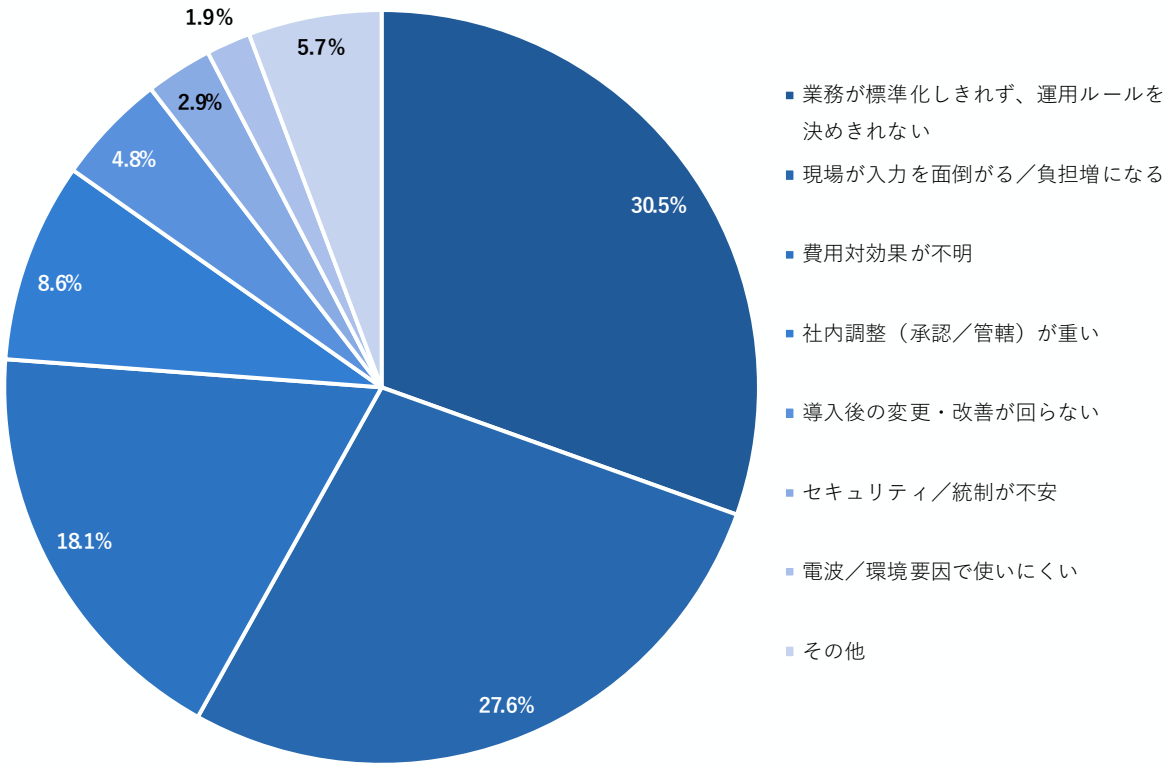


- 最も多かった回答は「転記・整形」で63.8%、次点で多かった回答は「データ収集」で44.8%だった
- データの形を整えたり各所から集めたりする準備工程に負担がかかっている
- 転記やレイアウト調整など、形式合わせの手間に対する回答が多かった

© Asteria Corporation

現場のデジタル化を阻む主要な課題

Q8：現場の帳票・報告のデジタル化を進める上で、最大の課題は何ですか？

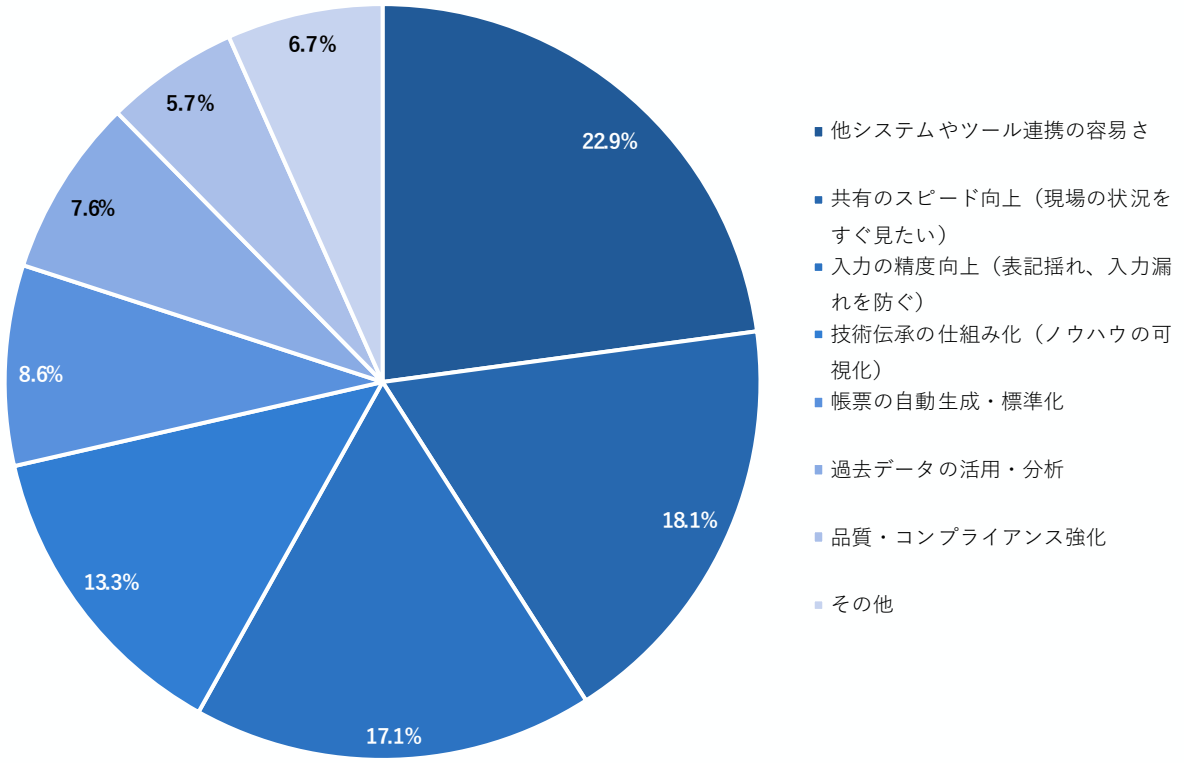


- 最も多かった回答は「業務が標準化しきれず、運用ルールを決めきれない」で30.5%、次点で多かった回答は「現場が入力を面倒がる」で27.6%だった
- システム導入以前に、既存業務の整理やルール化が進まないことが障壁であることが分かった
- 現場の心理的ハードルも高く、運用面での合意形成に苦慮している様子がうかがえる

© Asteria Corporation
「現場業務におけるExcel運用・帳票業務の課題」に関するアンケート 調査結果　アステリア株式会社／アイティメディア株式会社　2026年3月実施　調査件数 105件

現場データの活用における最優先改善事項

Q9：現場のデータ活用において、現在「最も改善したい」ポイントはどこですか？

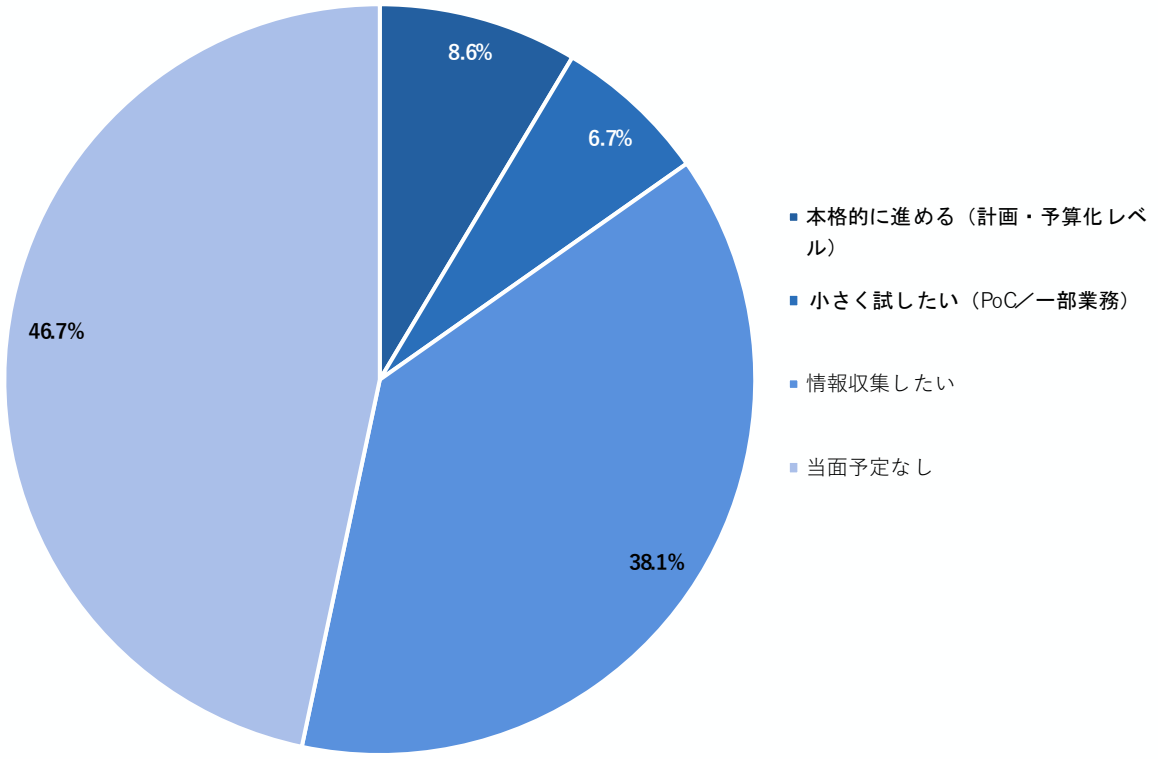


- 最も多かった回答は「他システムやツール連携の容易さ」で22.9%、次点で多かった回答は「共有のスピード向上」で18.1%だった
- 単独のツール改善ではなく、データ流用やシステム間の接続性を高めたい需要が強いことが分かった
- 情報のリアルタイムな共有や精度の向上など、データの即時性と信頼性の確保が求められている

© Asteria Corporation
「現場業務におけるExcel運用・帳票業務の課題」に関するアンケート 調査結果　アステリア株式会社／アイティメディア株式会社　2026年3月実施　調査件数 105件

今後1年間の脱Excel・脱紙の推進意向

Q10：今後12カ月で、現場の帳票・報告の「脱Excel／紙」をどの程度進めたいですか？

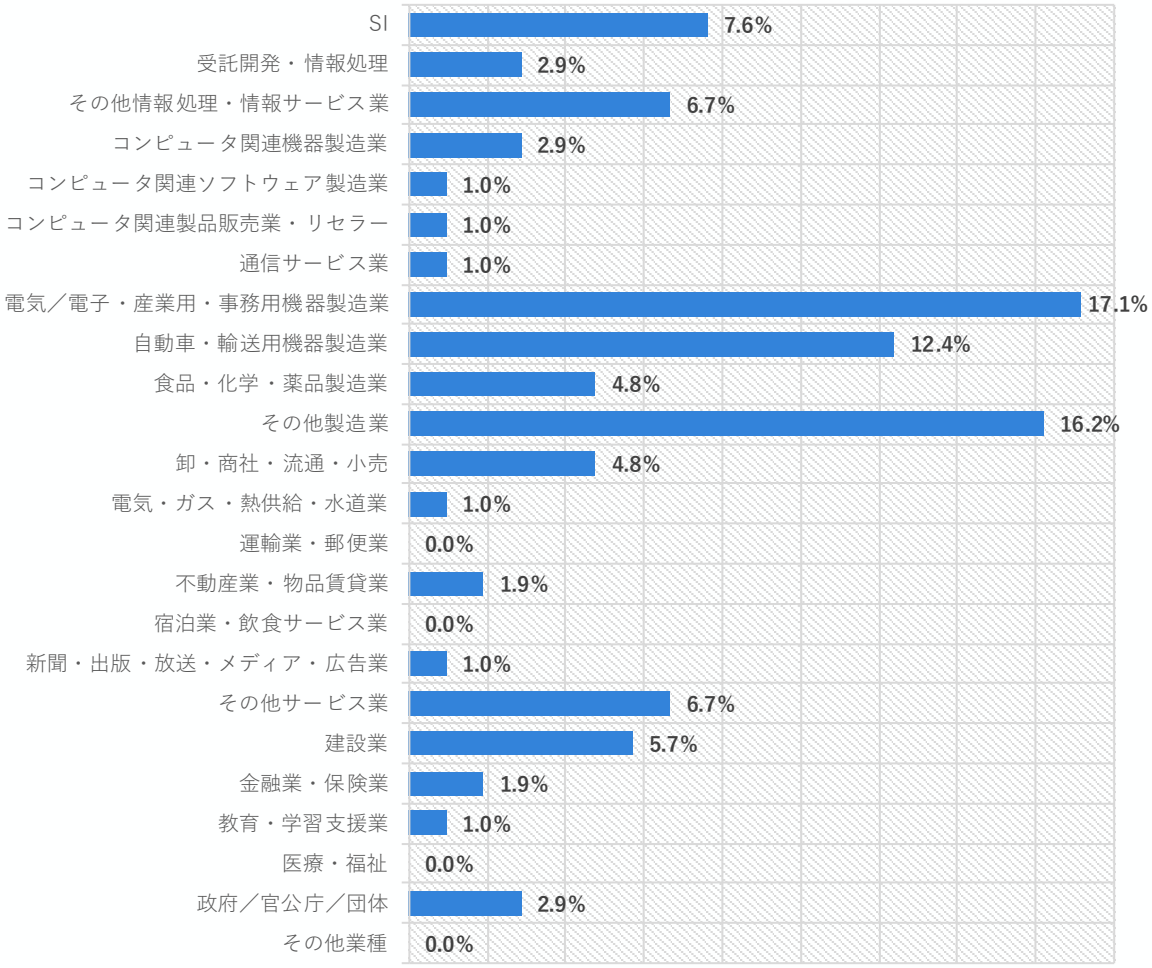


- 最も多かった回答は「当面予定なし」で46.7%、次点で多かった回答は「情報収集したい」で38.1%だった
- 現時点では具体的な刷新計画を持つ組織は限定的であり、静観している層が多数派であることが分かった
- 課題は認識しているものの、具体的な改善アクションや予算化には至っていない現状がうかがえる

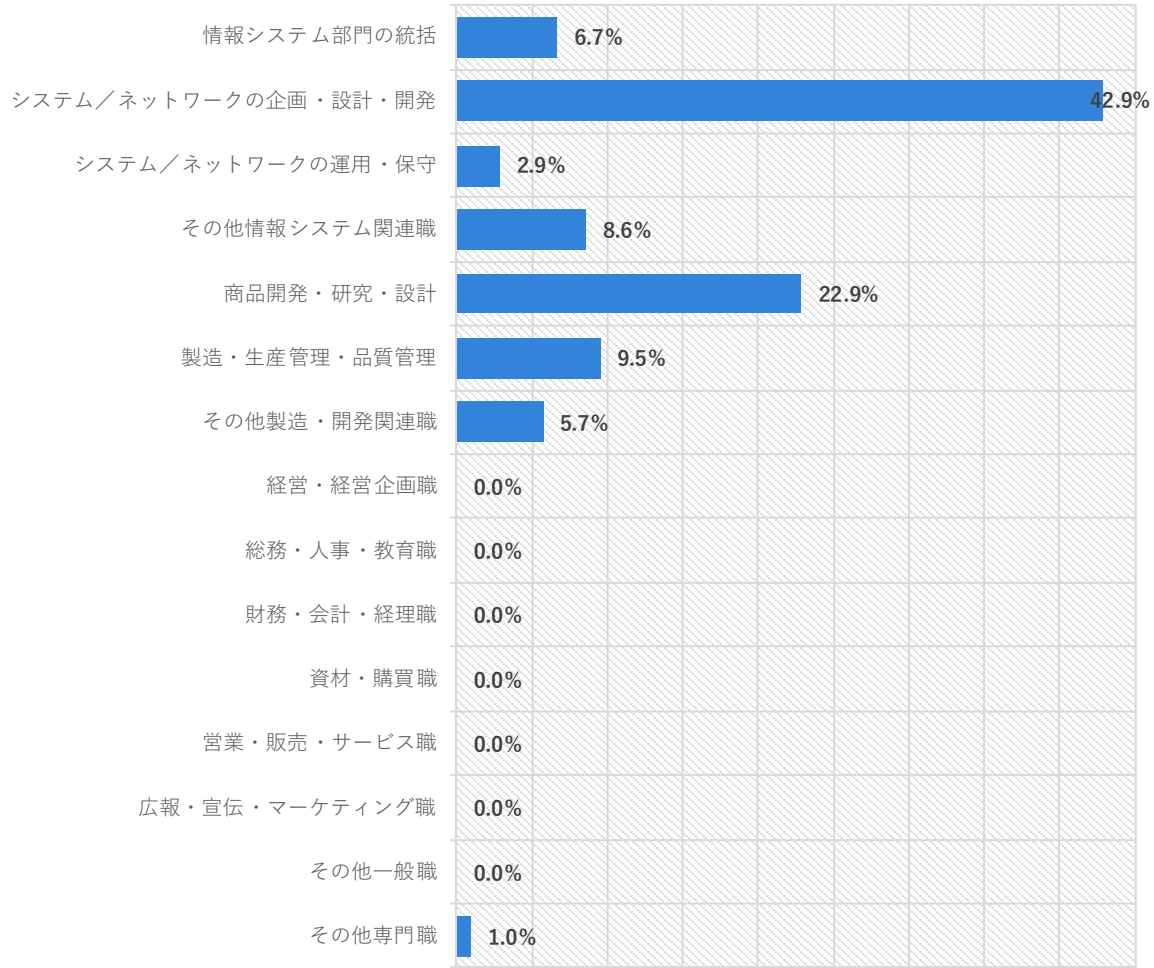
© Asteria Corporation
「現場業務におけるExcel運用・帳票業務の課題」に関するアンケート 調査結果　アステリア株式会社／アイティメディア株式会社　2026年3月実施　調査件数 105件

回答者属性 - 業種・職種

業種



職務内容



© Asteria Corporation

「現場業務におけるExcel運用・帳票業務の課題」に関するアンケート 調査結果　アステリア株式会社／アイティメディア株式会社　2026年3月実施　調査件数 105件

回答者属性 -役職クラス・従業員規模・年商規模・勤務地



© Asteria Corporation

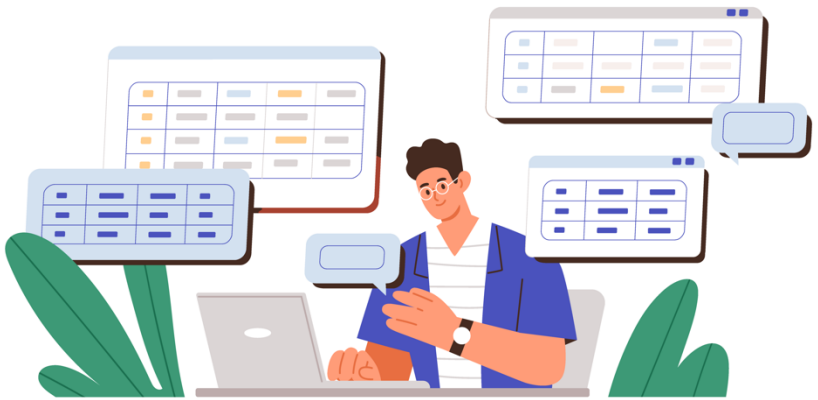
「現場業務におけるExcel運用・帳票業務の課題」に関するアンケート 調査結果　アステリア株式会社／アイティメディア株式会社　2026年3月実施　調査件数 105件

まとめ

本調査により、多くの現場でExcel・帳票業務が「転記・整形」という非付加価値作業に多大な工数を費やしている実態が確認されました。
帳票作成のボトルネックとして63.8%が転記・整形を挙げ、担当者の月間工数が6時間を超える層も約半数に上ります。
しかし、その負担の裏側で、**課題を認識しながらも具体的な改善策を打ち出せていない組織が多数派**となっています。

この現状を深く掘り下げると、「業務の標準化が進まない」「現場の入力定着が難しい」という現場レベルの根本的な壁が複合的に絡み合っています。また、入力不備による手戻りが約9割の組織で発生し、属人化による「改善の停止」が最大の組織リスクとして認識されているにもかかわらず、脱Excel・脱紙を「当面予定なし」とする企業が46.7%に上る状況は、**現場改善の機会損失が静かに積み上がっている**ことを示しています。

紙やExcelをアプリに置き換えることで、現場から収集したデータとのシステム連携が可能になり、現場負担を減らしながらデータ活用の精度を高められます。現場DXの成否は「いかに現場に定着する形でデジタル化を実現できるか」にかかっているといえるでしょう。



© Asteria Corporation

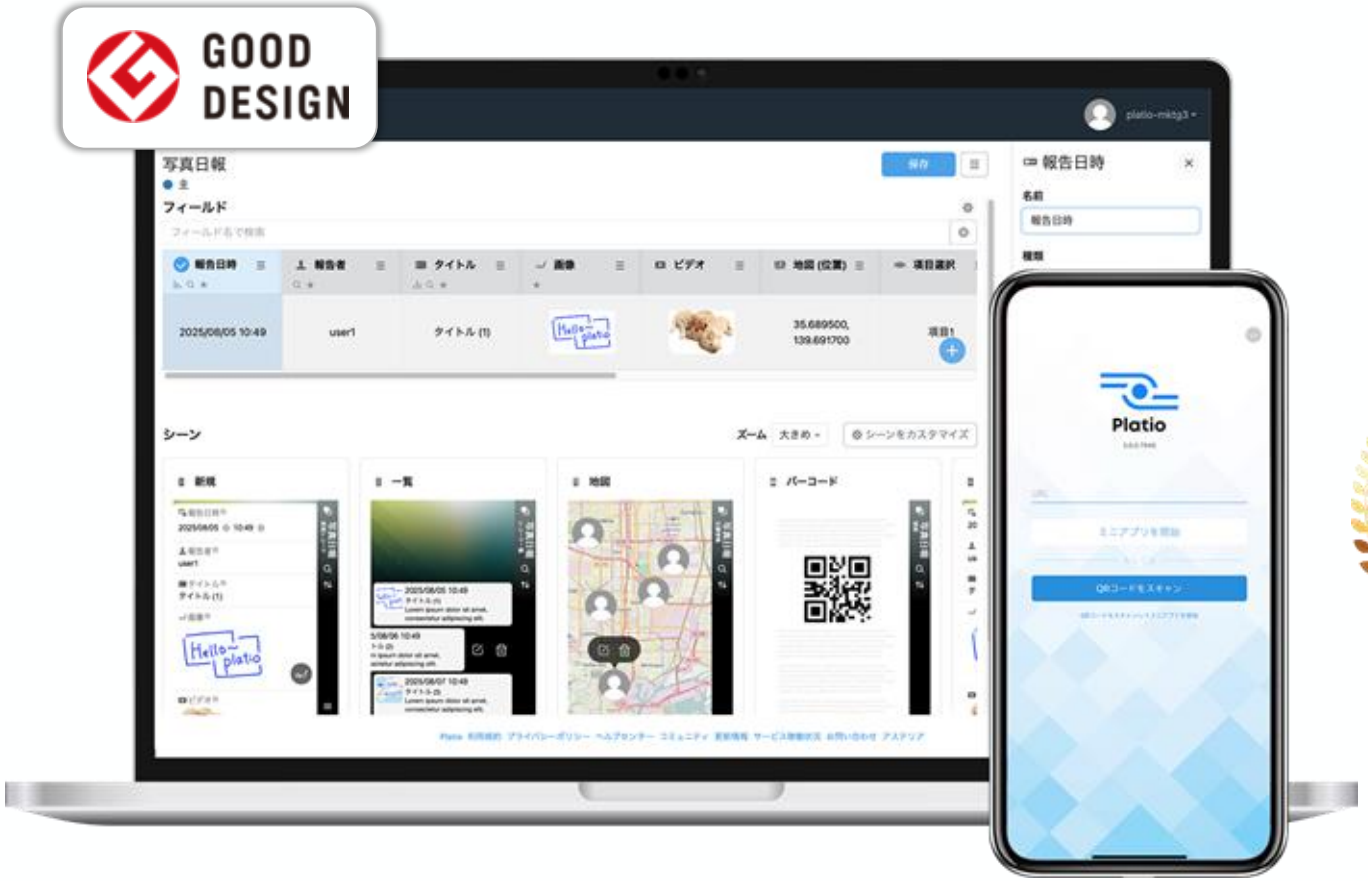
Excel運用・帳票業務の課題解決に！

モバイルアプリ作成ツール Platio（プラティオ）のご紹介

© Asteria Corporation

Platio（プラティオ）とは

Platioは、業務に合ったアプリを誰でも簡単に作成できるモバイルアプリ作成ツールです。
現場に残るアナログ業務を低コストかつスピーディーにアプリ化し、現場のDXを推進します。



ITreview Best Software 2026 TOP 100
スマホアプリ開発ツール部門

BOXIL SaaS AWARD 2025 部門1位 BOXILセクション
出典：スマートキャンプ株式会社主催
BOXIL SaaS AWARD 2025
BOXILセレクション
スマホアプリ制作サービス部門

Capterra BEST EASE OF USE 2025
No Code Platform

CSPA クラウドサービス認定 2025
2025年クラウドサービス認定

SMB市場シェア 4年連続 No.1
サービス業シェア 5年連続 No.1
内製型シェア 5年連続 No.1

出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所 ミックITリポート2026年2月号
B2Bノーコードモバイルアプリ作成ツール市場2025

© Asteria Corporation

現場でのモバイルアプリの活用イメージ

Platioは、次の3ステップで活用します。
① 現場業務を理解した担当者が、紙の記録票を代替する業務アプリを作成。
② 紙で行っていた記録・報告をアプリに置き換え、現場での入力から報告までを一元化。
③ 入力されたデータはクラウドに蓄積。管理者はリアルタイムに状況を把握し、迅速に意思決定。

STEP 1 **現場に合ったアプリを作成**



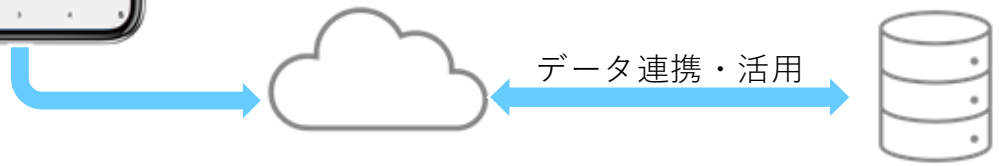


STEP 2 **現場はアプリで記録・報告**



STEP 3 **データはクラウドに蓄積、リアルタイムで情報共有**





© Asteria Corporation

あらゆる現場にあらゆるアプリを

- 豊富な**100種以上のテンプレート**で様々な利用シーンを支えます。









まだまだあります、便利なアプリ。詳しくは[Web]をご覧ください。

© Asteria Corporation

ご案内 ～Platio解説・体験コンテンツ～

Platioについて詳しく知りたい方



▼ 詳細・お申し込み方法は以下のページをご参照ください ▼
https://event.asteria.com/jp/event/platio_introduction_web/

講師と一緒にアプリ作成を体験したい方



▼ 詳細・お申し込み方法は以下のページをご参照ください ▼
https://event.asteria.com/jp/event/etaiken_platio_web/

ご自身でアプリ作成を体験したい方



▼ 詳細・お申し込み方法は以下のページをご参照ください ▼
https://plat.io/ja/feedback/taiken

© Asteria Corporation



【お問い合わせ】

アステリア株式会社

URL　：https://plat.io/ja/
メール：platio-sales@asteria.com

© Asteria Corporation